

道の駅「あおき」

- 地元NPOの体験学習で年間2,148人(うちインドネシアなどからのホームステイ214人)が来訪する「体験学習の村」(H25実績)
- 特産品の開発・継承及び高齢者宅配サービス等の拠点機能を新設、体験交流拠点機能の拡充、ドクターヘリによる救命緊急患者搬送拠点、大規模災害時での自衛隊等の参集可能な村内唯一の防災拠点として機能の大幅な強化を図る。

<地方創生拠点としての機能>
ゲートウェイ型

観光総合窓口 地域資源を活かした体験・交流会	地方移住等促進 移住情報のワンストップ提供	産業振興 特産品継承・開発	防災 自衛隊等の参集可能な拠点
---------------------------	--------------------------	------------------	--------------------

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
あおき	長野県	青木村	国道143号	既設	平成17年	一体型

長野県の東部山間部に位置し、H18から始まった合宿受け入れから体験学習が広まり現在、活発に行われている。

「道の駅」あおき

松本市

信州大学医学部付属病院※

※ドクターヘリによる救命緊急患者搬送先(想定)

佐久市

厚生連佐久総合病院※



「タチアカネ」を使用したそば
【青木村のみで栽培の新品種を使用して道の駅で提供】



「見返り漬け」
【地域の特産:道の駅売り上げの50%を占める】



「松茸」
【地域の特産:道の駅で販売】



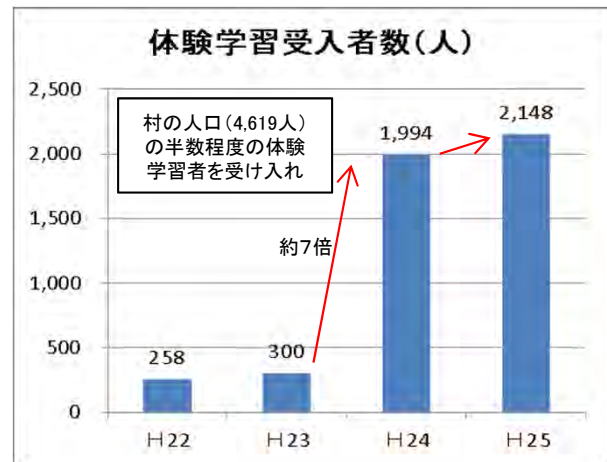
リフレッシュパークでの体験学習
平成26年8月インドネシアの地方公務員(観光部門の若手メンバー)



道の駅施設での体験学習
平成25年8月坂戸市の小学生



屋外での体験学習
平成25年8月千葉市の小学生



<提案の先駆性・ポイント>

■合宿受け入れから始まった体験学習がH24年度NPO法人化し、活動を活発化。H25年度実績で受入人員がH23年度から7倍。外国人受入も本格化。道の駅を拠点として体験交流窓口を設置し情報発信を強化するとともに、旅行業登録によりオプションツアーを旅行会社へ売り込みを行う等、更なる体験交流人口を増加させ、将来的な定住希望者の増加を図る。

<実施内容>

- 農産物直売所を新築、観光案内、高齢者宅配サービスの拠点整備、体験交流、定住者への情報提供相談窓口等の設置。
- 農産物加工施設を増築、見返り漬け生産者の育成、特産品の開発機能の充実。
- 蓄電池、ガス備蓄タンク、ヘリポート等の防災機能施設 等。